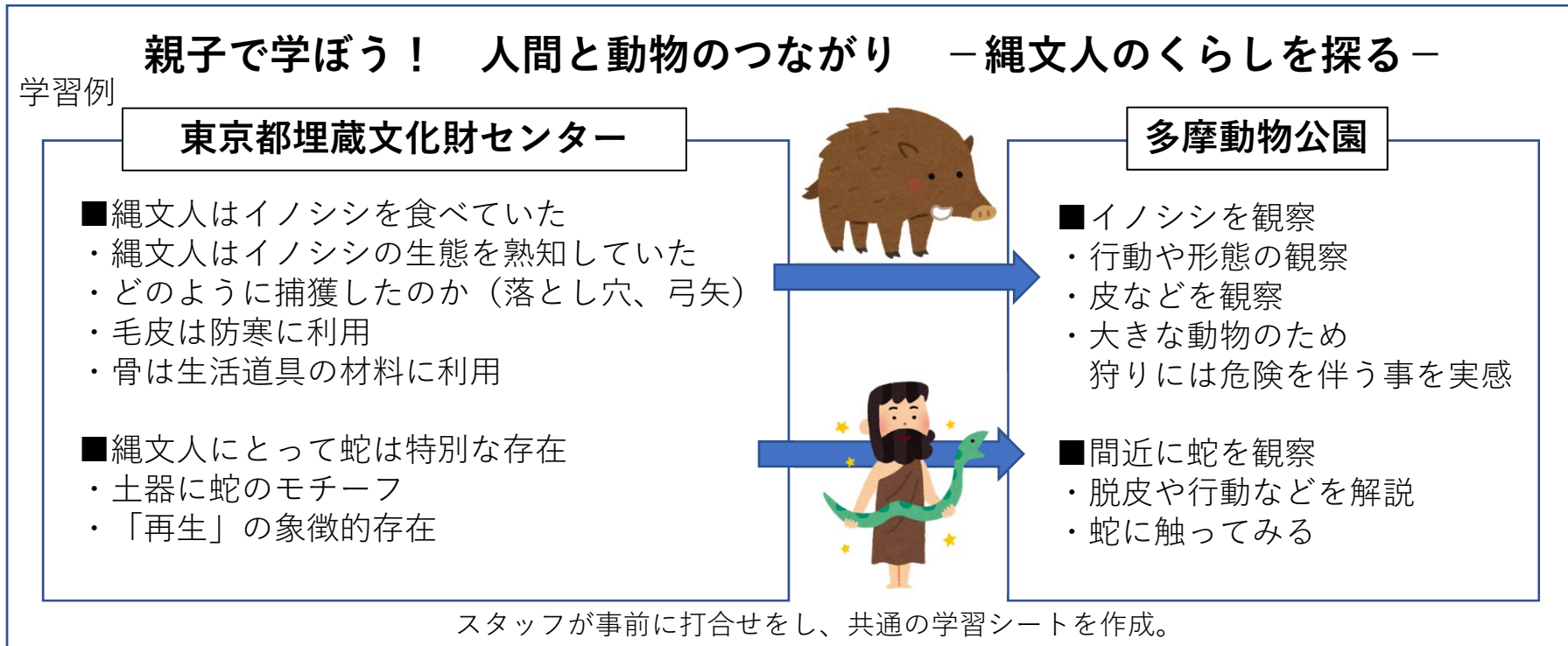


# 社会教育施設の協働によるESDの相乗効果



## 学習指導要領との関係例

### 社会〔第6学年〕

ア 大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。  
 (ア) 狩猟・採集や農耕の生活、古墳、

学校の授業で学ぶ内容について、社会教育施設において実際の土器や動物などインパクトの大きいものに触れることで、生徒自身が興味・関心を高める事につながる。これにより、自ら学ぶ姿勢となり、学校で学ぶ際に、より能動的・積極的に学ぶことで、学習すべき内容を自分のものとして獲得できる。

### 理科〔第6学年〕 B 生命・地球 (3) 生物と環境

生物と環境について、動物や植物の生活を観察したり資料を活用したりする中で、生物と環境との関わりに着目して、それらを多面的に調べる

#### ESDのポイント

知識伝達型 ⇒ 探求創出表現型  
 (先生から) **教わる** ⇒ (自ら) **学ぶ**  
 受動的な学び ⇒ アクティブラーニング  
 細分化した知の学び ⇒ 統合した知の学び